



学校だより

6 月 号

2020年6月1日
横浜市立中村小学校



HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nakamura/>

～ 子どもたちにとって安心できる学校環境を ～

校長 金子 郁規

90日間の一斉臨時休業期間を終えて学校が再開しました。不要不急の外出禁止の自粛要請では、保護者の皆様はもちろんです。子どもたちも我慢をしなければならないことが多くて辛く寂しい思いをしたことと思います。しかし、今日、子どもたちの姿が学校に戻ってきてくれたことを教職員一同嬉しく感じています。

分散登校という形で学校再開しましたが、新型コロナウイルスはまだ終息していません。これからは、学校でも感染拡大防止対策を行いながらの教育活動になります。横浜市教育委員会からは、「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」が通知され、学校内での教育活動において、どのように感染防止対策を施していくのかについて記されました。具体的な内容につきましては、今後も中村小学校ホームページにて、子どもたちの活動の様子と共に写真付きでお伝えしていきます。中村小では、新型コロナウイルス感染が拡大する前から学校独自にインフルエンザ・ノロウイルス感染拡大防止に向けて校内の除菌対策を施してきました。今後も子どもたちにとって安全・安心な衛生環境を整えていきます。

学校再開時の教育活動において、本校として重点的に取り組んでいくことが3つあります。

一つ目は、子どもたち1人ひとりの心のケアです。子どもたちの中には、新型コロナウイルス感染症の影響で、心に不安や緊張を抱えている子もいると考えます。また、新しいクラスでの新しい先生や友達との関係について不安を感じている子も少なくないと思います。各学級では、「学校再開スタートプログラム」と題して、子どもたちの不安や緊張を和らげたり、子どもたちの仲間づくりを支援したりする授業を最初に行います。教職員が子どもたち1人ひとりの心身の様子をよく見た上で、組織的に支援していきます。

二つ目は、学校生活のリズムを整えることです。学校は、時間を決めて集団で活動しています。約三ヶ月間ぶりの学校生活なので、今までは平気だった学校生活のリズムを苦しく感じる子もいると思います。6月の第二週までは、30分授業で子どもたちの様子を見ながら徐々に学校での生活のリズムに慣れていけるようにします。

三つ目は、学力の保障です。臨時休業期間中にご提出頂いた課題や今までの学習状況を捉えながら、基礎基本の学力向上と、子どもにとって「分かる」「楽しい」「もっとできるようになりたい」と感じられる授業をめざします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご家庭にもご協力をお願いすることが多くなります。お子さんの毎朝の検温および健康観察、登下校を含めたマスクの着用、お家でのお子さんの体調管理などです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

7月以降の学校教育活動の予定につきましては、夏休みや冬休みを短縮して授業時間を確保すること。各行事については、中止や延期の検討、内容の精選などを行っております。学校行事も学校教育活動において、子どもたちの健やかな心身の成長のために大切な活動です。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を施すことと、子どもたちの思いを大切にしていこうとのバランスを考えながら決定していきたいと思っております。